

## 日本気象学会昭和53年度総会ならびに春季大会の告示

- |  |  |
|--|--|
| <p>1. 期 日：5月23日(火)～25日(木)</p> <p>2. 会 場 気象庁(予定)</p> <p>3. 総会提出議題</p> <p>1) 締切：2月28日(火)</p> <p>2) 宛名：東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内<br/>日本気象学会<br/>封筒の表に「総会関係」と明記のこと</p> <p>3) 内容：議題名と提案理由</p> <p>4. 研究発表</p> <p>1) 講演申込・予稿原稿の締切：2月28日(火)一必着一</p> | <p>2) 申込先：東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁<br/>長期予報課内 講演企画委員会</p> <p>3) 様式：本号挿入の申し込み用紙に記入し予稿原稿を添えて申し込むこと。原稿用紙は本誌挿入のものを使用すること。詳細は本号次頁の講演予稿集原稿の書き方等をご覧ください。</p> <p>4) 講演時間：討論を含め15分以内一厳守一</p> <p>5. シンポジウム</p> <p>「数値実験に基づく大気大循環について」(仮題)</p> |
|--|--|

### 研究発表希望部門の分類の改正について

さきに、天気24巻8号および1977年秋季大会予稿集において、春・秋季大会の研究発表申し込みの際の、希望部門の分類の改正について提案していましたが、別紙(春季大会講演申し込み用紙下段記載)のように改正しましたのでお知らせします。

(講演企画委員会)

### 正 誤 表 (下記の通り誤植がありましたのでお詫びして訂正します)

巻 号	ペー ジ	行	誤	正
24. 9.	518	左 3	B 12 版	B 6 版
24. 11.	666	左下13～	$\frac{1}{m_0} \frac{dm_0}{dt} = -0.39A_R \sin \alpha$ $\left. \begin{array}{l} \frac{d\gamma}{dt} \neq 0 \text{ のとき } \frac{d\gamma}{dt} = 22^\circ \cdot 3(1 - A_R \cos \alpha) \\ \frac{d\gamma}{dt} = 0 \text{ のとき } P_{day} = 10^3(2.469 - 0.170A_R \cos \alpha)^{-1} \end{array} \right\}$ <p style="text-align: center;">(A-25)</p> <p>ここに、<math>m_0</math> は Chandler Wobble の振幅、<math>\gamma</math> は同じく位相、<math>P_{day}</math> は日数で表わした Chandler Wobble の周期で、<math>dt = 1</math>年である。</p>	ゴシック文字の部分を削除します